

県体を芦北・水俣で開催

去る十月十四日午前十時から、来年九月に熊本県民体育祭を芦北・水俣で開催する。この第三十七回熊本県民体育祭は、芦北郡実行委員会、水俣市、芦北郡各町長の第一回協議が芦北郡各町長、水俣市長、郡市助役、議長、教育長、教育課長、担当者出席のもとに水俣市役所新館で開催された。

協議は佐藤秋男芦北郡体育協会長の開会挨拶の後、水俣市の山田社会体育課長から、県民体育祭を受け入れてから現在までの経過報告がなされ、引き続き水俣市長を議長に選出し、次の議事案件が提案された。

一、第三十七回熊本県民体育祭水俣市芦北郡実行委員会規程の改定について、

二、同事務局規程案承認の件、

三、同予算案承認の件、

四、第三十七回熊本県民体育祭の開催地決定に関する件、

五、同実行委員会役員等承認の件、以上が熱心に協議され、決意が示された。

同実行委員会事務局は来年四月まで水俣市水道局会議室で、全議案とも承認されました。



三地区のファミリースポーツ大会

今年も「スポーツで家族のふれあい、近所のおつきあいを」をスローガンに、浜崎では卓球、ゲートボール、ビーチボール大会が十月十八日に隣保班総対抗戦で開催されました。また、古川地区では十一月一日、ソフトボール大会が開催されました。

県ヨット連盟と交渉を続けています。

なお、実行委員会の役員は会長に浮田水俣市長、副会長には山下田浦町長、坂本芦北町長、六津津奈木町長、佐藤秋男氏、事務局局長に山田水俣市社会体育課長、事務局次長には溝下芦北教育事務所指導主事が決定し、いよいよ来年九月開催に向けての準備がスタートしました。

あなたのひらめきがタイトルに 県体の標語募集

◎第三十七回県民体育祭標語募集について

来九月に水俣市・芦北郡、第三十七回県民体育祭が開催されることになりました。県民体育祭を水俣市・芦北郡の住民（小学生を含む）が盛り上げるために次の要項に「標語」を募集します。

一、主旨
水俣・芦北地区を象徴し、建設的なもの

二、対象
水俣市・芦北郡の住民（小学生を含む）

三、要切
昭和五十六年十二月二十五日

四、送付先
津奈木町教育委員会

五、審査
実行委員会

六、表彰
次の作品に賞状、記念品を贈る

優秀：一点
入選：三点
佳作：五點
その他

（一）未発表のものに限る。
（二）水俣・芦北地区を象徴するもの。
（三）一点とし、用紙は自由とする。



B&G 参加の輪が広がる 各種スポーツ教室

九日に開催された卓球教室に続き、B&G海洋センターでは、福浦地区を対象に「フットボール教室」が十月二十日福浦運動広場において八日間の日程で実施され、夫婦そろっての参加者も多く連日なごやかな雰囲気の中で基本動作をみっちり勉強され、参加者の間から定期的な練習を希望する声が続々と聞かれました。

また、十月二十七日から開講された「女性のためのバレーボール初心者教室」には、三十数名の参加者があり、ボール無しでのパス姿勢やレシーブでの手や足の使い方等を熱心に受講され、閉講式での紅白試合ではサーブも良く入り、好プレーが見られました。

十一月のスポーツ教室では、青少年育成強調月間でもあることから、スポーツの秋にふさわしく、各種の大会・教室が実施されました。

「母子ビーチボールバレー教室」は十一月六日から、各小学校区別に開催し、会場の津奈木小体育館・B&G体育館では、親子の仲がよりよくなることを目的に、ふれあいがテーマのバレーを通して一層深まり、十一月十二日には、平国・赤崎・津奈木の各校区対抗の母子ビーチボール大会がB&G体育館で開催されました。

いま高校生の間でバドミントンが静かなブームを呼んでいます。

そのバドミントン教室が十一月十七日に開講され、受講者の間でとても好評で回を増すごとに受講者が増え、現在もこの教室は続いており、町民の皆様もどうぞ、体力づくり、健康づくりに各種スポーツ教室に御参加下さい。

B&G 「若人の船」団員募集

昭和五十六年度、海外体験航海、第五回B&G「若人の船」の渡航地は台湾と香港です。

この事業の目的は、規律正しい団体生活の中でお互いの友好を築き、連帯と協調の精神を涵養するとともに、海事に関する理解と関心を深め、併せて訪問地の歴史・経済等を学び、国際的視野を広め、現地との交歓を通じて国際親善に寄与し、もって心身ともに健全な社会人を育成し、海洋国日本への発展に貢献することを目ざして実施されるものです。

実施期間
昭和五十七年三月十七日から三月二十四日まで。

Bグループ
昭和五十七年三月二十三日から四月三日までです。

台湾の国際的行事に参加
今回はB&G「若人の船」が初めて訪れる台湾において、同国の国家的行事「青年節（日本の成人式）」への招待プログラムが組まれ、文化交流、スポーツ親善交流が開催されます。参加希望者は十二月十日まで海洋センターへ申込み下さい。

津奈木の芸術 盆栽 (4)

木戸安太郎氏



私、木戸さん宅を訪れたのは、去る小春日の午後であった。玄関前の立派な五葉松がまず目をひく。昭和二年（鹿兒島本線開通の年）に自分の手で植えられたものだ。去年の産葉祭に出品された梅の盆栽がある筈と庭にまわると、日当りのよい一角に並んでいる。

今故人の林主計さんから接ぎ方を習って接いだというこの盆栽も、優に五十年は経っている。盆栽には、その格好よきの外に年月の育みと、忘れがたい思い出がからまっています。外に古木の風格をたたえた梅、大きすぎて鉢に乗らないので庭植えにしたという枝垂れ梅など、しばしば目を惹かれます。

この外には、元々程の接ぎ方をして接いだという盆栽も、優に五十年は経っている。盆栽には、その格好よきの外に年月の育みと、忘れがたい思い出がからまっています。外に古木の風格をたたえた梅、大きすぎて鉢に乗らないので庭植えにしたという枝垂れ梅など、しばしば目を惹かれます。

歳時記



津奈木民話 山崎直次郎

十八の国 (四)

お寺から帰った幸四郎は、あの時街道で別れた美しい娘さんの居処がわかった。うれしくて眠れなかった。そして朝早く若狭の国をめざして旅立った。幸四郎は、若狭の国にはいると、高い山から山手をかざして見たり、逢う人ごとに聞いたりして方方探し廻っているうちに、お金も使い果たして、こじき同様の姿になり、もう諦めて津奈木に帰ろうかと思つた。ある日、あまりつかれたので大きな木の下に休んでいた。

幸四郎は、みずばらしい自分の姿も忘れて、夢中になってその入口に駆け込んだ。幸四郎は、この家の下男にしてくれと一所懸命に頼んだ。この家の人は皆よい人ばかりで、人のよさそうな若い幸四郎をこの家の奉公人として、幸四郎は一所懸命になって働いて、皆からよろこばれながら暮らすうちに一月二月と月日が流れるけれども、家の奥に住む娘さんは、一度も奉公人の前に姿を見せたことはなかった。

い。そうこうするうちに、この家の娘さんは、京都の町の分限者の外へお嫁に行くことになった。幸四郎は、泣きたい気持ちが毎日続いた。然世の中は、分限者と貧乏人では言葉をかきかきと許されに、あんな娘さんとは縁がなかったのだと諦めたつもりで、

青年教室は、勤労に従事し、又は従事しようとする青年に対し、生活に必要な職業又は家事に関する知識及び技能を習得させ、並びにその一般的教養を向上させることを目的として、市町村が開設する社会教育事業で、本町でも現在実施されています。これまで、楽しいゲームとレクリエーション、青年と文化活動などを

青年教室は、勤労に従事し、又は従事しようとする青年に対し、生活に必要な職業又は家事に関する知識及び技能を習得させ、並びにその一般的教養を向上させることを目的として、市町村が開設する社会教育事業で、本町でも現在実施されています。これまで、楽しいゲームとレクリエーション、青年と文化活動などを

青年教室は、勤労に従事し、又は従事しようとする青年に対し、生活に必要な職業又は家事に関する知識及び技能を習得させ、並びにその一般的教養を向上させることを目的として、市町村が開設する社会教育事業で、本町でも現在実施されています。これまで、楽しいゲームとレクリエーション、青年と文化活動などを

青年教室は、勤労に従事し、又は従事しようとする青年に対し、生活に必要な職業又は家事に関する知識及び技能を習得させ、並びにその一般的教養を向上させることを目的として、市町村が開設する社会教育事業で、本町でも現在実施されています。これまで、楽しいゲームとレクリエーション、青年と文化活動などを